

静岡市 日中サービス支援型指定共同生活援助 事業評価シート

事業所名
グランベア瀬名
作成年月日
令和2年6月22日

1 基本情報 (令和2年6月1日時点)

事業所 情報	指定年月日	令和 2年 4月 1日
	法人名	社会福祉法人 恵和会
	法人所在地	静岡市清水区長崎新田311
	事業所名	グランベア瀬名
	事業所所在地	静岡市 葵区 瀬名1丁目31-3
	定員 (共同生活援助)	20 人
	定員 (短期入所)	2 人

利用状況	障害支援区分	計 画	現 在	現在の総利用者数
	非該当	0 人	0 人	19 人
区分1	0 人	0 人		
区分2	0 人	1 人	利用者の最短利用期間	
区分3	11 人	9 人	令和2年4月 ~ 令和2年6月	
区分4	3 人	3 人	2か月 29日	
区分5	3 人	3 人	利用者の最長利用期間	
区分6	3 人	3 人	令和2年4月 ~ 令和2年6月	
計	20 人	19 人	2か月 29日	

職員配置	配置人員	職種	実人数	常勤換算
		管理者	1 人	1 人
サービス管理責任者	1 人	1 人		
世話人	14 人	6.6 人		
生活支援員	8 人	3.2 人		
夜間支援体制	夜間支援従事者	0 人	0	
看護職員の配置	有 配置状況	1 人	1 人	

グランベア瀬名

2 サービスの提供内容		(地域生活支援部会)	
① GH内での日中の過ごし方 (支援内容・標準日程等)		評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
利用者数	19人中 19人利用	<ul style="list-style-type: none"> ・家事など自立をサポートする支援は良い。 ・休日や夜間など、利用者が揃っている時の余暇活動やイベントなど、充実させていって欲しい。 ・平日の過ごし方、休日の過ごし方は違うと思う。ご本人の意向に合わせて日中活動をされているようだが、意思決定支援、意向確認をどのような形で行われているか詳細がわかる計画等があればよい。 ・利用者の過ごし方は多様で、その多様性を重視しながら、あくまでも利用者を中心とした支援を心掛けてほしい。週末の活動は支援スタッフと利用者が相談しながら決めることも重要な取組。年齢にあった内容、選択肢がいろいろあること、主体性を大切にすることも重要。 ・個別支援に対応したメニューを考えてほしい。 ・日中活動に参加できない方に対しての日中活動の充実をお願いしたい。 	<p>利用者の多様性を重視し、個々の障害の特性を理解しながら日々の支援に取り組んでいきたいと思ます。今後の課題としては職員の知的、発達障害のある方への意思決定支援を研修等で理解を深めて実践していきたいと思ます。</p>
<p>散歩、買い物への同行、パズル・塗り絵など余暇の提供。掃除、洗濯や日常生活動作の補助。</p>			
② 他の日中活動サービスの利用状況 (サービス種別ごと・人数)		評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
利用者数	19人中 16人利用	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日1時間程度ではあるが、生活介護や就労A型・B型などに参加している。 ・利用者それぞれの日中活動の充実にも配慮をお願いしたい。 ・今後は利用者（高齢化を含む）の状態の実像に合わせた日中活動の事業所選択が必要になってくると思われ、日中活動のあり方や幅広いバリエーションの提示を考慮願いたい。 ・外部の日中支援を望まれる方やその方が妥当と思われる方には、そのようなサービスの提供に協力していただきたい。 ・通常のグループホームでは、対応できない方、特にご本人の特性上、日中活動の場（集団になじめないなど）や居宅介護など外部のサービスを利用することが難しい（約束が守れないなど）ケースの支援を期待したい。 ・GHと就労先との距離が近く、様々な融通が利く一方で、同じ事業所の中ですべて完結してしまっていることもあると思うので、地域等のつながりを意識してサービス提供を行ってほしい。 ・日中活動の場所へ行けない場合、行けるようにしていくのか、無理には行かないようにするのか。行けない場合の理由、今後の計画、目標などがあれば教えてほしい。 	<p>日中活動の場所に行けない方に関しては無理にはいかない方向で考えています。理由としてはやはりこちらが日中支援型のGHであるということと、無理にいかせた場合生活の基盤であるGHの生活に影響を及ぼす可能性があるところです。その為にはまず日中GHに残られる方への支援を確立しなければならぬと考えています。利用者が何を求めているか個別カンファレンスで検討していきその具体的な方であった日中の支援を提供していきたく思ます。まずは今行っている支援を継続させ昇華させていきます。</p>
<p>生活介護 9人。就労A型 1名。就労B型 6名。</p>			

③ 日常生活支援の取組状況	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>(食事、入浴、排せつ介助、安眠支援、利用者への行動障害など)</p> <p>毎日3回朝、昼、夕食事の提供。各利用者の状態に合わせて入浴・排せつ介助の見守り・介助の実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の支援はしっかり行われていると思われる。 ・動作だけでなく、共同生活ならではのルールやマナーの指導にも力を注いで欲しい。 ・基本的な生活支援と共にストレスの生じない生活環境づくりにも配慮をお願いしたい。 ・支援で大変なところ、工夫している所の記載があればよいと思う。 ・自立にも配慮しながら、工夫をしていただけているのではないかと。すでにご本人の生活スタイルが決まっている方もいると思うが、自立に向けた支援が受けられなかった方などの可能性を持っている方もいると思われるので十分なアセスメントと支援をお願いしたい。 ・強いこだわりがある利用者に対し、柔軟な対応で安心感のある支援を引き続きお願いしたい。さらに、障害特性の把握とそれに合わせた個別対応を利用者全員にできるよう努めてほしい。 ・三食の食事以外に水分補給や軽食の提供などは行っているか。 	<p>各利用者・家族希望がある場合は実費で間食、副食等購入してもらい提供しています。GHとしては月に一度お楽しみ会やイベント事を開いた際に提供しています。水分に関しては現在いる方に関してはご自分で随時水分摂取される為食事以外の水分の提供をしていません。夏場はフロアにキーパーを用意して飲んで頂いています。</p>
④ 利用者とのコミュニケーション (方法と頻度等)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>毎日の挨拶、車いすの方には目線を合わせて行う。重度障害の方にはジェスチャー、カードなどを使用して行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの支援に工夫されていて良い。 ・ジェスチャーカードの取り組みなど参考になった。 ・ハートとテクニックの両面で利用者とその家族を守ってほしい。 ・自己決定する力をはぐくみ大切にするコミュニケーションのとり方を考慮して取り組んでいただきたい。 ・自閉症の方への視覚支援、構造化を行った方が良いと思われる。コミュニケーションは相互のやり取りのため、個別での支援をお願いしたい。 ・コミュニケーションの難しい方とのコミュニケーション方法に工夫がみられ良いと感じる。重度の方は対応や指示が職員によって差があったり、対応職員が次々に代わると混乱するため、一貫した対応や対応職員の少数化が必要になってくると思われる。入所に当たっては、計画相談事業所だけでなく、保護者や日中活動の場の職員との情報共有をお願いしたい。 ・今後も定期的な時間を取って、全員と話す仕組み及び機会を作っていただきたい。 	<p>個々の利用者によってコミュニケーションの取り方が変わってきますがその方の障害の特性を理解し、職員間でコミュニケーションの取り方を統一して日々取り組んでいきたいです。研修で外部から講師をお願いして勉強する機会を作りたいです。</p>

⑤ 健康管理（緊急時の対応方法）、服薬支援の方法	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>緊急連絡シートの作成。常勤看護師の配置、看護師による服薬確認、服薬管理、服薬介助、ダブルチェックの実施。受診の日程調整、付き添い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が常勤で配置されている。常勤看護師がいることは利用者・職員にとっても安心できる。 ・看護職員の専門性を生かしながら、支援する職員のスキルアップも意識して欲しい。 ・成人病の健診、人間ドック、歯科への定期受診など総合的な健康診断の支援管理も重要。 ・健康診断はどのように実施しているか。 ・主治医が各個人で違うと思うが、緊急時の対応についてどのようになっているか。 ・コロナ感染時の対応マニュアルの作成などは行っているのか。研修などを通して全職員に対応の確認など行っているか。 	<p>健康診断は年に一回協力医療機関にて実施予定をしています。緊急時の対応については個々に緊急対応シートを作成して対応していきます。内科、外科的要因からのものは協力医療機関へ必要なら救急搬送にて大きい病院へと対応していきます。コロナ感染のマニュアルは感染予防・感染時ともに作成しており研修もおこなっています。</p>
⑥ 利用者のプライバシー及び個人情報保護のための取組状況	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>各利用者の資料等は鍵付きの棚にて保管。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が知りえる情報を守るため、意識向上の研修や誓約書の提出も可能な限り実施して欲しい。 ・事業所としての守秘義務への姿勢と方針を確認していただき、個人の守秘義務契約書等作成するなどの工夫をお願いしたい。 ・本人、家族の同意を得て、災害時の要援護者登録は行っていただきたい。 ・掲示物や写真などの個人情報管理はどの様に行っているか。 	<p>写真は施設のカメラのみ使用し利用者、家族に同意を得て撮影しています。掲示物に関しては使用後はまとめて施設のシュレッダーにて処理しています。個人情報取り扱いについての研修を行い個々の意識を高めていきたいです。要援護者登録についても進めていきたいと考えています。</p>

⑦ 金銭・貴重品管理体制	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>現金(10万以下)、印鑑、障害者手帳等金庫にて保管。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースバイケースだと思うが、社協の権利擁護と併用するなど、使い過ぎへの配慮もお願いしたい。 ・本人にも事業所にもサポート役になる成年後見の利用促進を。金銭管理の記録(帳簿)は、一定期間ごとに家族に確認してもらうなどしてトラブル防止に努める対策を。 ・後見人制度の活用について検討いただければと思う。 ・事業所内で金銭管理マニュアルの作成と、職員間の情報共有を行ってほしい。また、必要に応じて権利擁護や成年後見を利用し、事業所に負担がないように対応をお願いしたい。 ・金庫の鍵の管理の責任者の明確化や金銭の出納記録等があるか。 ・事務金庫にて金銭管理を行っているが、具体的にどのように管理を行っているか(出納帳を付け、月に1回管理者が出納帳と残金をチェックしているか)。 	<p>金庫の鍵については各責任者と職員3名ほどと固定しており必ずそのうちの誰かが鍵をあけるようにしています。鍵の場所を今後検討必要ならダイヤルロックにするなどして対応していく予定です。月に2回責任者がチェックしています。</p>
⑧ 地域生活の支援 (地域との交流状況・外出支援の取組状況等)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>地域住民による畑の指導、無人販売の検討。ホーム側にてバザー開催予定。現在コロナウイルスの影響にて計画が止まっている状況。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流が計画されているのはとても良い。地域の中で余暇活動が楽しめるという場面を増やして欲しい。 ・畑作りから無人販売へ、地域の集まりへの参加など地域との接点がしっかりとしている。 ・GHの利用者も地域の一員として公的な福祉サービスだけでなく地域住民や町会の主催する地域活動につなげる視点を大事にして、日常的なつき合いにもつながっていくことを期待する。 ・生活の場として地域住民の理解を得るための活動はとても大切である。実施至っていないが、利用者と住民の交流に関する計画は、評価できる。 ・グループ活動以外の個別での地域との交流を今後取り入れていただきたい。 ・外部支援の活用、ガイドヘルパー、行動援護等はどうなっているか。 ・社会参加、余暇支援についてどのように考えているか。 	<p>定期的に移動支援を利用し外出支援しています。社会参加、余暇支援はGHに住まわれている利用者には必要なことだと思いますので引き続き支援していきます。今後も地域との交流をしっかりとしていきたいです。</p>

⑨ 緊急時・災害・不測の事態発生時の対応 (連絡・バックアップ体制)	評価・要望・助言	
<p>毎月の避難訓練。年二回の消防との共同防災訓練予定。災害マニュアルの作成。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署との共同訓練がされている。 ・毎月の訓練、ぜひ継続して実施して欲しい。消防との共同訓練では、施設職員のスキルアップもさることながら、消防の方に施設内部の構造を知ってもらうことの重要性を意識して欲しい。 ・災害時などの事業所のBCP(事業継続計画)の作成、ウイルス感染者が出た場合の対応マニュアルの作成も重要かつ必要。 ・地域の防災訓練への参加、町内会の協力は必要だと思う。 ・消防署との共同訓練が実施されていることは評価できる。 ・避難所に避難が必要になったとき、地域の避難所での生活が難しい方もいるので、どのようにするかも検討いただきたい。 ・地域の防災訓練の参加を行い共助の部分意識して取り入れていただきたい。 	<p>地域の防災訓練への参加は盲点でしたので是非参加していきたいと考えています。職員のスキルアップ、利用者への災害時への意識がもたれるように毎月の訓練を行っていききたいと思います。</p>
⑩ 短期入所の利用状況 (緊急時の受入状況等)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>月平均 延べ利用人数 0人</p> <p>4月立ち上げよりホーム利用者の状態を優先し、徐々に落ち着かれてきた為秋口より短期入所受け入れの予定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・短期間にほぼ満床となっているのは、利用者を選ばないとか、人気の高い証拠と思われる。大変評価できる。 ・短期入所は、地域で暮らす障害者に欠かせない重要な資源であり、可能な限り、受け入れをお願いしたい。 ・短期入所スタートの折にも、GH利用者への分かりやすい丁寧な説明、配慮をお願いしたい。 ・緊急時の短期入所の受入れ先として期待している。 ・入所施設の緊急時の短期入所の利用は、事前に短期入所の利用が条件となっているが、貴事業所の場合の利用方法について関係機関への周知をお願いしたい。 ・相談支援事業所と連携し、今後も取り組んでいただきたい。 	<p>外部からも短期入所の問い合わせがとても多くあらためて短期入所の必要性を感じさせられています。出来るだけ早くスタートしていきGH利用者の理解配慮を忘れずに受け入れていきたいと考えております。</p>

⑪ 職員間の情報共有 (方法と頻度等)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>1日3回口頭での申し送り、ノートを使った情報の共有を実施。毎日の業務日誌・ケース記録の記入。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の重要性を意識しながら、細かいことまで情報共有できる体制を構築して欲しい。 ・丁寧な情報共有に取り組まれていると思う。 ・利用者の混乱を防ぐためにも情報共有と一貫した対応は、大切である。 ・障害特性を理解したコミュニケーションをお願いしたい。 ・スタッフ会議（グループホーム支援者全員が集まるもの）等でのケース検討はされているか。 	<p>スタッフ会議については毎月日程を決め行っています。夜勤がある勤務形態上全員が参加することは難しいですが休日の職員に手当を法人より出しているなど、できるだけ多くの職員が参加できるように働きかけています。会議後は会議録を作成し記録を残し情報が共有されるようにしています。</p>
⑫ 職員の資質向上への取組 (研修実施、勤務条件・職務内容の適正化)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>毎月の研修、面談の実施。自己評価シートの作成、評価。夜勤専門、半日勤務、外国人・障がい者雇用の実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の取り組みを無理のない形で、継続して欲しい。 ・職員の方々は、日々誠意をもって利用者への支援に取り組まれていると思う。さらなる専門性の強化に努めていただきたい。 ・障害の理解や職業倫理等の研修の充実をお願いしたい。 ・内部研修、外部研修、専門研修がどのようになっているか。自閉症、行動障害等の研修はどのようになっているか。 ・外国人や障がい者雇用についてどのように実施しているか。 ・外国人・障がい者雇用の実施は就労支援等にはつながることになると思うが、職員の資質向上につながるか。 	<p>研修に関してはスタッフ会議の後に行っています。自閉症研修など障害に関することは経験者を講師として研修をお願いしています。現在の雇用についてはGHでは外国人雇用者1名、障害者雇用者1名となっています。</p>